

↑ FAX 06-6904-1456
門真市社会福祉協議会 福祉教育 担当者 あて

【福祉教育依頼書】

令和 年 月 日

記入者： _____

★本紙はコピーしてお使いください。

学校名	
担当者氏名	
電話番号	
学 年	(例)4年生
生徒人数	(例)1組30名、2組32名
依頼内容	(例) 点字体験や当事者のお話を聞いて、視覚障がいについて理解を深めたい 等
実施予定時期 (おおよそ)	

- ご依頼は本紙を記入の上FAXまたはGoogleフォームから申込できます。
- どちらでも申込可能です。
依頼書が届き次第、担当者からご連絡させていただきます。
- 申込は実施の1～2か月前ごろのタイミングでお願いします。(早めはOKです)
実施にあたり、打合せ、準備が必要です。
- 備品の貸出も行っております。
(貸出物一覧)



Googleフォームからの
申込はこちらから

【貸出物】	点字版	アイマスク	車いす	ボッチャ	高齢者疑似体験 セット
【数】	35台	38個	要相談 在庫次第	3セット	10セット

- 新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策の上、実施致します。
- 申込や福祉教育に関するお問い合わせ(平日9:00~17:30)
担当者 小椋(こまつ)まで06-6902-6453にご連絡ください。
※不在や他業務対応中の場合は折り返しご連絡させていただきます。



ふだんのくらしのしあわせ
～みんなのふくしを考えよう～

令和2年度 福祉教育活動報告

社会福祉法人 門真市社会福祉協議会
〒571-0064 門真市御堂町14-1保健福祉センター内
TEL:06-6902-6453 FAX:06-6904-1456

社会福祉法人
門真市社会福祉協議会

社協福祉教育 令和2年度報告



ふだんのくらしのしあわせ
～みんなのふくしを考えよう～



本事業は、赤い羽根共同募金より助成を受け実施しております。
皆様のご協力ありがとうございます。

社協の福祉教育

門真市社会福祉協議会では地域住民が互いに地域で支えあう担い手を育成するために福祉教育に取り組んでいます。福祉（ふくし）をより身近なもの「**ふだんのくらしのしあわせ**」としてとらえ、子どもから高齢者まで幅広い世代の方を対象に取り組んでいます。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響がある中、多くの小学校からご連絡をいただき、感染防止対策を行ったうえで、取り組むことが出来ました。

つきましては、令和2年度の活動状況のご報告と新たな取り組みをまとめさせていただきましたので、ご覧いただければと思います。

プログラム

- ・視覚障がい {当事者の講話、点字体験、アイマスク体験}
- ・聴覚障がい {当事者の講話、手話体験}
- ・車いす {当事者の講話、車いす体験}
- ・障がい者スポーツ {ボッチャ体験、サウンドテーブルテニス(STT)}
- ・バリアフリーとユニバーサルデザイン {講義}
- ・ふくしとわたし {講義}
- ・障がい理解学習全般 {上記のプログラム+サービスラーニング}
- ・高齢者 {疑似体験、認知症理解、サービスラーニング}
- ・防災福祉教育 {ワークショップ、講義、街歩き 等} ・ **企画中**



ZOOMを活用した授業も行いました。

令和2年度 実施した学校 (順不同)

学校名	学年	学習内容
沖小学校	3年生	障がい理解学習全般
	4年生	視覚障がい
門真みらい小学校	3年生	聴覚障がい
	5年生	視覚障がい、障がい者スポーツ(ボッチャ)
脇田小学校	3年生	視覚障がい
	4年生	視覚障がい、障がい者スポーツ(STT)
北巢本小学校	4年生	障がい者スポーツ(ボッチャ)



車いすユーザーのお話。



点字体験。児童がうった名前をその場で読みあげます。



質問を通して、聴覚に障がいのある人の生活を学びます。



ボッチャ体験。スポーツの視点から福祉を考えるプログラム。

先生方からの声 (実施後アンケートより一部紹介)

- 手話など、福祉教育の後でも、行っている子どもたちの姿が見られました。(3年生担当)
- 点字のしくみについて、既習のローマ字と関連づけて教えて下さったり、子どもたちの質問に一つ一つ丁寧に答えて下さって、教師側から見てもとても勉強になりました。(3年生担当)
- 遠い存在だったのが、身近な存在になってきたと思う。(4年生担当)
- 当事者の方のお話がきけた、サイフからお金をとりだす、りんごむきなど実際にやって下さったところがとても分かりやすかった。(5年生担当)
- 目が見えない=楽しくない、かわいそうと思っている子が多かったが、考えが変わった子は多いと思う。(5年生担当)

新たな取り組みの紹介

学習内容：「助け合い！沖プロ」
様々な障がいについて学び、自分たちに出来ることを考える

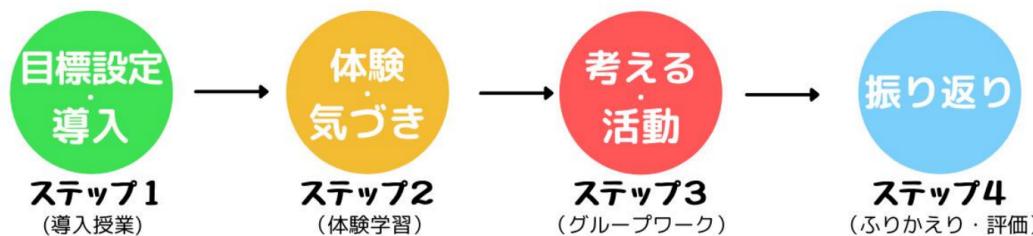
実施校：沖小学校3年生 学習期間：2学期

- 学習目標：①様々な障がいについて知る。
②障がいのある人の立場に立って考えたり体験したりすることを通して、一人一人のちがいを認め合う心を養う。
③ともに生きることの大切さに気づき、住みよい地域にするために自分たちに出来ることを考える。

～担任の先生の想い～

支援学級に通う子が多い学年です。そのため2年生までは支援学級について学習を進めてきました。今年度は3年生になり、さらに自分の身近な福祉や障がいに目を向けてほしいと感じていました。そこで障がい理解を深め、お互いを認め合うことの大切さを体験や活動を通して学ぶ機会にしたいと思いました。

福祉教育 学習の流れ(プロセス)



ステップ1 目標設定・導入

導入授業

- ・担任の先生との事前打ち合わせで、学習目標や内容について話し合い、学習予定を決めました。
- ・導入授業は「ふくしとわたし」というテーマで社協職員が授業を行いました。福祉とは自分たちにとってどんなものか、子ども達と対話しながら考えるワークです。福祉を身近に感じてもらう、これからの学習に対する基本的な考え方を学びました。



▲一人ひとりの違いを認め、共に生きることの大切さを考えます。

ステップ2 体験・気づき

体験学習や障がい当事者のお話

- ・3年生であっても障がいのイメージがつきやすい身体障がい(聴覚や視覚、肢体)を中心に学習。
- ・学習では、障がい当事者やボランティアグループにご協力いただき取り組みます。
- ・各テーマに応じて体験学習だけでなく、障がい当事者にお話しいただく機会を設けました。事前に考えた質問から、日常生活の過ごし方や課題、工夫など様々なお話から障がい特性やその人の生活について学習します。



▲手話で算数



リンゴの皮むきだってできるよ！



▼車いすに乗ってボッチャに挑戦



学習後に毎回、担任先生が模造紙にまとめて下さいました。

ステップ3 考える・活動

「助け合い！沖プロ！」(グループ活動)

- ・作戦会議を行い、自分たちにできることを考え、アイデアを出し合いました。それをもとに6つテーマに絞り、グループに分かれて活動をしました。この活動の名称は「助け合い！沖プロ」で子どもたちが名付けたものです。各グループでリーダーを決め、自分たちで計画を立て活動に励みました。

6つのグループ

〇門真バリアフリーグループ

門真市のバリアフリーについて調べ、模造紙にまとめる。模造紙は学校内に掲示。

- ①市役所の職員さんにインタビュー。
- ②京阪電鉄にインタビュー(メールでの質問)



▲インタビューの様子 ▲券売機に点字を発見

〇マスクの下はえがおグループ

- ①3種類の啓発ポスターの作成。
- ②学校、公共施設、市内のコンビニ等への掲示。



▲市内のコンビニ、郵便局にも掲示しています。

〇ボッチャグループ

- ①低学年向けにボッチャ体験を行う。
- 大阪府のレッドステージに併い、実施に至らず。



▲体験に向けてルールの確認

〇ピクトグラムとバリアフリーについて学ぼうグループ

- ①学校のバリアフリーを調べ、「バリアフリー新聞」を作成。
- ②支援学級のユニバーサルデザインについて先生にインタビューし、模造紙を作成。
- ③身近にあるピクトグラムを調べ、クイズを作成。学校内に掲示。



▼バリアフリー新聞 ▼校内のバリアフリーの調査

ステップ4 振り返り

まとめ

- ・今回の取り組みの振り返りを「ふりかえりシート」を活用し行いました。「助け合い！沖プロ」に限らず、2学期中に学んだことや印象残ったことや感想、これから障がいのある人のためにどうしていきたいかなどを一人ひとり自分の言葉でまとめました。

学習後の子ども達の声

- ・もし何か困っている障がいのある人がいたら声をかけていきたい。
- ・ずっとずっと、仲良しに楽しく過ごしていきたいから色々な事を助けて平和な町を作りたいと思う。

- ・障がいのある人も困ってる人も助け合いながらいっしょにいい町にしたい。
- ・耳か聞こえない人を見かけたら手話で話できたらいいなーと思いました。

(本文は振り返りシートより原文のまま記載しています。)

担任の先生からのコメント

子どもの学年に応じた学習内容や流れで体験を多く取り入れてもらえたおかげで楽しみながら意欲的に学習することができました。4か月間という長い期間でしたが、頻繁に来校していただいて子どものモチベーションは下がることなく学習に取り組めました。今まで知らなかった、障がいのある方のくらしや思いを知ることができ、子どもたちのこれからの生き方や考え方を深めていくための基礎ができたと思います。

